



2021～2022 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI 会長テーマ

会 長 志田 成樹

副会長 菅野 嘉洋

幹 事 三田地 大悟

= 会長指針 =

多様性を尊重し、

未来につなげる

・ ・ ・ 例 会 記 録 ・ ・ ・

5月第3週例会 2022年 5月19日(木)

ソ ン グ : それでこそロータリー ボックス : 19,000円 (報告者 浜田浩誠会員)

本日出席率 : 52.78% 前回修正後100% (メンバー15名) (報告者 熊谷雅也会員)

・ 例会に出席するという習慣を復活し、出席率を回復、次年度に備えたいですね。

地区大会における表彰の伝達



古内会員へ

RLI 研修パートⅢ修了書と
卒業を証するバッジ



新沼福三会員へ

30年100%出席
記念品

★ 会長の時間 : 志田成樹会長



本日は、地区大会で経済評論家の上念司氏の講演の内容にもありました「インフレデフレ」についてお話したいと思います。

まずは「インフレとは」物価が上昇して、お金の価値が下がること。

例えば、リンゴを一個100円で売っていたとします。これだと消費者が殺到してしまい、リンゴが足りなくなりそうです。そこで一個200円にすることにしました。今まで、100円玉一つで買えていたものが、100円玉が二つ必要になる。

この状況を「お金の価値が下がった」状態と呼ぶそうです。つまり、消費者が欲しい数量(需要)より、物の数量(供給)が少なくなると、物の値段は上がり、お金の価値は下がる。これをインフレーション(インフレ)と言います。でも、物が値上がりしてなかなか買い物にもいけなくなるとするのは当然ですが、インフレのメリットとして、物価が上昇すると会社やお店の利益が上がる、給料が上がる、給料が上がれば消費が進み経済が発展していく。「バブル」と言われる時代はまさにインフレ状態でした。

しかし、インフレも行き過ぎてしまうと困ったことになります。一個100円だったリンゴが物価の上昇が止まらず、10倍の1000円になったとします。ここまできてしまうと物が売れない、会社やお店の利益が下がり、物が作れない、消費が減る、お金が回らず経済が破綻する。これが「ハイパーインフレ」です。

このように急激にインフレが進むと、物は売れなくなり給料も上がることがないので、節約しようと益々物が売れなくなります。そうすると、会社やお店はどうか。値下げを考えます。

次に「デフレについて」物価が下落して、お金の価値が上がる。一個100円だったリンゴを50円に値下げしました。今まで100円で一個しか買えなかったリンゴが2個買えるようになります。

そうすると、物が安く買えるようになり消費が進む、会社やお店の利益が上がる、給料が上がり益々消費が進む。なんか、悪い状況ではないように感じます。

しかし、インフレもデフレも給料が同様に上がっていけば、の話です。現実的にはどうでしょうか？

初めは、値下がりし消費が進むかもしれませんが、安いものに慣れてくるともっと安いものを求めるよ

うになります。物の数は売れても、会社やお店の利益は上がりず、給料も上がらない。物が売れないのでさらに安くしさらに利益が減る。この状況がきりなく進み悪循環となる、これが「デフレスパイラル」と言うそうです。

ここで、自分の職業に置き換えて考えてみました。復興需要も終わり、工事物件数も減少している状況で、物の値段はどんどん上がっているにもかかわらず、物が無い状況はどういうことだろう？

景気後退局面にありながらも、物不足によるインフレ（物価の上昇）の状態。

これを最悪の経済状態の「スタグフレーション」と言うそうです。

自分は1973年生まれですが、1970年代に原油価格が4倍に跳ね上がり、日本を含む多くの国が陥ったオイルショックも、この「スタグフレーション」だそうです。

ここにいる先輩会員の皆様は、最悪の経済状況だった「オイルショック」を経験し、踏ん張って乗り越えて今があるのだなと思いました。

自分も踏ん張り、今頑張らなければと思いながらこの原稿を作りました。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

青少年奉仕アワー：藤丸数子委員長卓話



本日は青少年奉仕アワーということで、大船渡東高校インターアクトクラブの活動の一部を私からご報告させていただきます。

今年の2月に各地区のIAC代表1校の活動報告動画を国際ロータリー2590地区ガバナー事務所に提出するというので、大船渡東高校のインターア

クトクラブで動画を作成し報告しておりますので、そちらをご覧くださいと思います。

また、年次大会の中止により、代替行事としましてインターアクトクラブ各校活動報告書を今年度の担当である大船渡東高校で取りまとめをして製本しておりますので、そちらも合わせて本日ご紹介させていただきます。まずは、2月に提出しております活動報告動画をご覧ください。

次にインターアクトクラブ各校の活動報告です。皆様には目次と大船渡東高等学校の報告書をお渡ししております。2520地区のインターアクトクラブは計31校あり、今回は25校が報告書を提出しているということです。10個の項目と活動風景などの画像で構成されており、項目につきましては学校名、学校所在地、全校生徒数、インターアクトクラブの人数、クラブの会長の学年と氏名、提唱ロータリークラブ、年間活動目標、2020年度の活動報告、過去の活動紹介、これから展開していきたい活動となっております。これから実際の報告書をうつしますので、ご覧ください。学校名と年間活動目標を私からご紹介させていただきます。

◎仙台育英学園高等学校年間活動目標：「今できる奉仕活動に主体的に取り組もう」

◎宮城県名取高等学校年間活動目標：「校訓である「真・善・美（しんぜんび）への感動と実践」を踏まえ、地域社会への貢献を果たす。」{真善美：認識上の真と、倫理上の善と、審美上の美。理想を実現した最高の状態をいう。}

◎明成高等学校年間活動目標：インターアクト宣言の具体化を目指し、設立当初から地域「産学官民」連携による食環境デザインプロジェクト「リエゾンキッチン」を推進しています。地域の伝統的な食文化資源を活用した「食の学び」を実践しながら「地域づくり」に取り組んでいます。東日本大震災発生後からは、被災地域の復興に向けた取り組みとして活動を進めています。今年度は地域の食文化をテーマに「浦戸諸島における白菜の採種文化の保存活動」と「白菜を通じた日韓食文化交流（仙台白菜キムチフェス）」のプロジェクトを進めました。」

◎宮城県迫桜高等学校年間活動目標：「コロナに負けず、穏やかに笑顔で過ごせる時間を大切にしよう！」です。新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、人と人との関わりが制限される日々が続

いていますが、離れていても互いに相手を思う気持ちを大切に、穏やかに笑顔で過ごせる時間を紡ぐことができるよう、私たちには何ができるのかを考え行動していきたいと考えこのような目標にしました。

◎宮城県多賀城高等学校年間活動目標：

「コロナに負けない～コロナだから出来ないではなく、コロナでもやれること～」

◎尚絅学院高等学校年間活動目標：

「たくさんの人との出会いを通して視野を広げ、お互いの意見を尊重しながら共に成長しよう。」

◎宮城県加美農業高等学校年間活動目標：「校訓である「耕心」育成のため積極的な地域貢献活動を行う。」 耕心（こうしん）：飽くなき文化への憧れと創造豊かな人間性の開発強い意志の鍛練人生への日々新たな希望と喜びとの指標。

◎宮城県立視覚支援学校年間活動目標：

マッサージボランティア・清掃奉仕活動を通じて社会貢献の心を育む。」

◎聖和学園高等学校年間活動目標：

「オンラインを活用した国際交流や校内でできるボランティア活動を展開する。」

◎常盤木学園高等学校年間活動目標：「活動を通し、異文化との摩擦に耐えうる、逞しい国際人の育成」

◎宮城県塩釜高等学校年間活動目標： 「ボランティア活動を通して、地域社会を笑顔にする」です。

◎宮城県亘理高等学校年間活動目標：

「みんなで協力し助け合いながら、笑顔で積極的な明るい街づくりに取り組む」

◎岩手女子高等学校年間活動目標： 「自分の頭で考え、行動する」

◎岩手県立北上翔南高等学校年間活動目標： 「インターアクトの活動を通して、国際的な人に成長

◎岩手県立宮古水産高等学校年間活動目標： 「人の立場に立ち、思いやりをもって物事に取り組む」

◎岩手県立黒沢尻工業高等学校年間活動目標：「車いすの整備について、台数を10台以上整備する。

このような状況下ではあるが、ロータリークラブと連携してできる活動を行っていく」

◎岩手県立種市高等学校年間活動目標： 「地域社会（ロータリークラブ等）との連携を深めるため、通学路清掃や校外清掃活動などボランティア活動等へ継続的・積極的に参加する」

◎岩手県立福岡高等学校年間活動目標：

「他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること」

◎岩手県立花泉高等学校年間活動目標：

「新型コロナウイルスに負けずに一人一人が責任を持ち活動する。」

◎岩手県立宮古商工高等学校年間活動目標： 全員で協力し合い、人を支える活動を探し、実行する。」

◎一関修紅高等学校年間活動目標： 「（１）校外内の積極的ボランティア活動、（２）地域社会との交流活動、（３）環境整備」

◎岩手県立千厩高等学校年間活動目標： 「ボランティア活動を通して地域の活動に参加することで人々との交流を図るとともに、人間性を豊かにする。」

◎一関学院高等学校年間活動目標： 「ボランティア活動をし、社会貢献しよう」

◎岩手県立久慈東高等学校年間活動目標： 「コロナ禍の中でも行える活動をする。」

◎岩手県立大船渡東高等学校年間活動目標： 「活動に積極的に参加し、地域の方々を笑顔にする。」

簡単ではありますが、インターアクトクラブの活動報告をさせていただきました。コロナ禍の中思うような活動ができていない中で、レポートの取りまとめ等を敦子先生始め大船渡東高校インターアクトクラブの生徒さんたちが頑張ってくれました。

本日の報告は以上となります。ご清聴いただきありがとうございました。

陸前高田 RC 創立 60 周年参加

中野会長の開会点鐘で式典が開始

市長・ガバナーのご挨拶



陸前高田市立博物館主任学芸員熊谷賢氏から

東日本大震災の際の文化財のレスキューについてのお話

「ふるさとの宝は失われていない」



休憩をはさみ 濱守 PG のご挨拶



高田 RC 最長老の河野様の

乾杯三唱で懇親会開始

かんぱい かんぱい かんぱ〜い

